

令和2年度 青森県産業技術センター畜産研究所 和牛改良技術部 あんない



青森県の基幹種雄牛



(地独) 青森県産業技術センター 畜産研究所 和牛改良技術部
〒038-2816 青森県つがる市森田町森田月見野558
電話0173-26-3153 FAX0173-26-3205
<http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=1182>



あomorいの未来、技術でサポート

業務の概要

種雄牛の検定・選抜部門

種雄牛の繋養



パドックで草をはむ第1花園



直接検定合格牛の立ち運動



種雄牛の引き出し



若雄の調教

種雄牛の検定



種雄牛(待機牛)の体尺



直接検定牛の体尺

凍結精液製造部門

● 精液採取、活力検査、販売供給



種雄牛からの採精



精子の活力検査



精液ストローと精子検査器具



液体窒素(-196℃)中の凍結精液

繁殖部門

● 優良繁殖牛の放牧管理、種雄候補牛の生産



親子放牧



連動スタンションでの給餌



誕生直後の子牛

試験研究等

● ゲノム育種価解析による優良種畜の生産に関する試験研究開発 (R1~)

● 全国和牛能力共進会鹿児島大会対策推進事業 (R2~3: 県重点事業)

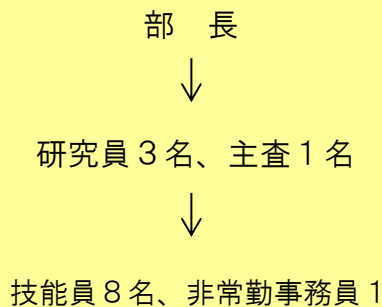
沿 革

- 昭和39年 4月 青森県畜産指導所創設（肉牛、乳牛、豚）
- 昭和53年 5月 本県独自方式による和牛種雄牛産肉能力直接検定開始
- 昭和62年 4月 畜産指導所及び養鶏指導所を統合し、畜産試験場森田支場に改組（肉畜科、養鶏科）
- 昭和62年 6月 乳牛部門を廃止
- 昭和62年 12月 和牛種雄牛産肉能力間接検定開始
- 昭和63年 6月 全和方式による和牛種雄牛産肉能力直接検定開始
- 平成 4年 6月 兵庫県等からの種雄牛導入開始（～平成7年度 計10頭）
- 平成 7年 4月 畜産基地建設事業着工（～平成10年3月竣工）
- 平成 8年 3月 養豚部門を廃止
- 平成10年 3月 「雪国」号を本県初の基幹種雄牛に指定
（平成11年度「第1花国」及び「福安」、12年度「照神12」、14年度「国栄97」
20年度「第2花国」、23年度「優福栄」、24年度「光茂」、26年度「平安平」
29年度「春待白清」、30年度「広清」）
- 平成13年 4月 畜産試験場和牛改良技術センターに改称し、養鶏科を廃止
- 平成15年 4月 青森県農林総合研究センター畜産試験場和牛改良技術センターに改組
- 平成21年 4月 地方独立行政法人青森県産業技術センター畜産研究所和牛改良技術部に改組

土地区分

区分	面積
建物敷地	4. 2 ha
放牧地・採草地	26. 1
山林・原野等	5. 8
計	36. 1

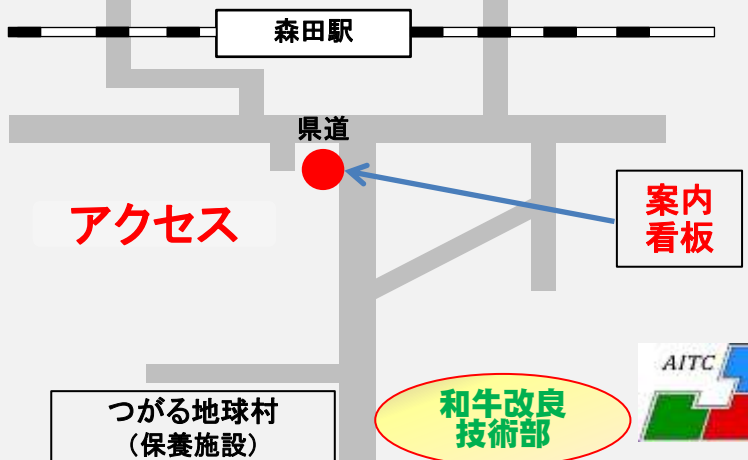
組織体制



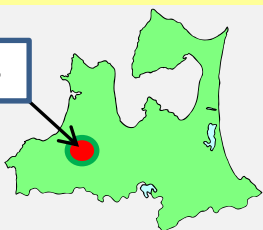
肉牛飼養頭数(R2.2.1)

区分	頭 数	備考
基幹種雄牛	4	広清、春待白清等
後代検定待機牛	19	能力検定中の種雄牛
直接検定牛	17	種雄牛候補
繁殖雌牛	42	あおはな系主体
育成・子牛	14	
肥育ほか	40	後代検定調査牛
計	136	

至 鱒ヶ沢 能代 国道101号 至 青森 五所川原



和牛改良技術部



つがる地球村
(保養施設)

和牛改良
技術部

